

令和8年第1回(3月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 金須 新一 議員
 - 1) 町長が掲げた施策について
 - 2) クマ対策における果樹伐採について
 - 3) 防災士育成の早期完結を

2. 鈴木 安則 議員
 - 1) S S P構想予定地の今後について
 - 2) 消防水利の利便性について

3. 佐々木 和夫 議員
 - 1) 東北楽天ゴールデンイーグルス2軍誘致について
 - 2) 道の駅おおさと及び開発センターの有効活用について
 - 3) 空き家・空き地対策について

4. 鈴木 恵子 議員
 - 1) 町長の公約について
 - 2) 文化会館を活かした地域活性化策を
 - 3) 町議会解散の賛否を問う住民投票の裁判について

5. 赤間 則幸 議員
 - 1) 賑わいのある町へ
 - 2) クラブ活動の移行による、地域の負担は

6. 鎌田 暁史 議員
 - 1) 町議会の解散請求署名について
 - 2) 施政方針における諸課題の取り組みについて
 - 3) 町民の福祉向上について

7. 鈴木 利博 議員
 - 1) 不登校対策に介護の考えを
 - 2) 使用済み天ぷら油の再利用を
 - 3) 人口減少対策

8. 赤間 繁幸 議員
 - 1) 公約のスーパーマーケット誘致について
 - 2) 空き家対策について

9. 田中 三恵子 議員

- 1) 物価高騰支援対策について
- 2) 地域おこし協力隊について

10. 高橋 重信 議員

- 1) 大郷町の活性化は人口増である
- 2) 費用対効果がすべてではない
- 3) 造成工事を民間事業者に委託

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 町長が掲げた施策について</p> <p>町長に就任して、約半年が経過した。立候補した時点で、6項目の大きな重点施策を掲げている。その中に掲げた施策について伺う。</p> <p>(1) スーパーマーケット誘致については、どのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 道の駅2階部分を試験的に活用し、室内遊びの場を提供しているが、最終的にどのような施設にしていくのか伺う。</p> <p>(3) 町営学習塾の開設については、どのような内容で検討しているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. クマ対策における果樹伐採について</p> <p>クマ出没対策の一環として、今後クマの餌となる果樹を伐採する取り組みを進めていくと聞いているが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) この事業内容は、どのようなものなのか詳細について伺う。</p>	
<p>3. 防災士育成の早期完結を</p> <p>公費負担で各行政区に、防災士を育成する目的で大郷町自主防災組織機能強化補助金交付要綱を施行してから約2年が経過しようとしている。しかしながら現実には、約2割の行政区しか防災士を育成できていない状況である。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今後スピード感をもって対応する対策は、検討しているのか伺う。</p> <p>(2) 各行政区の自主防災組織において、すでに資格を取得している防災士の方々が、どのように住民指導していくのか。担当課が明確なマニュアルを作成し、配布すべきと思うが、町の考えを伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. SSP構想予定地の今後について</p> <p>SSP構想予定地の 60ha について未だ方向性が見えてない状況である。12月の一般質問で伺った回答として、意向調査の結果を踏まえ方向性を決定することだった。</p> <p>(1) 令和7年12月24日第3回事業経過説明会において、町は意向調査結果について報告した。令和8年1月27日の意見交換会で町が基盤整備への再編入の意向を示したが、方向性が決定したということによろしいのか。所見を伺う。</p> <p>(2) 基盤整備再編入時の条件について伺う。</p> <p>(3) 意向調査結果について、町民全体に対しての公表はしているのか。また、町長は全ての意向調査表に目を通して伺うのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 消防水利の利便性について</p> <p>現在、町内には消火栓 163 か所、防火水槽 65 か所が各地区内に設置されているが、まだまだ利便性が悪いエリアもある。</p> <p>特に大松沢上郷地区の荒井宅地エリアは公設水利が無く、鶴田川からの取水となり、火災発生時は長距離送水となる。</p> <p>以下の点について伺う。</p> <p>(1) 消火栓の設置予定はあるのか。</p> <p>(2) 防火水槽の設置予定はあるのか。</p> <p>(3) 現状のまま自然水利を利用するのか。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 東北楽天ゴールデンイーグルス 2軍誘致について</p> <p>(1) プロ野球東北楽天が2軍の拠点としている泉練習場について、移転の検討に入っている。2030年代前半の移転完了を目指す構想であり、候補地は「楽天モバイル最強パーク宮城」から車で1時間程度の範囲を想定している。構想では、メイン球場のほか、練習用のサブ球場、室内練習場、選手寮等を集約した施設を整備し、敷地面積は10万平方メートル以上の構想である。粕川地区SSP事業用地に誘致を図ってみてはどうか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 道の駅おおさと及び開発センターの有効活用について</p> <p>物産館及び開発センターの今後の運営・活用方法について所見を伺う。</p> <p>(1) 道の駅おおさとの2階は、現在、キッズスペースとして利用されている。今後、どのように利用拡大を図っていくのか伺う。</p> <p>(2) 開発センターにある加工実習室・製粉乾燥室及び精肉加工室の昨年の利用件数及び利用状況と、今後、どのように利用拡大を図っていくのか伺う。</p> <p>(3) 物産館及び開発センターを中心に、大郷町をアピール出来る商品開発をしてはどうか伺う。</p>	
<p>3. 空き家・空き地対策について</p> <p>人口減少及び高齢化に伴い空き家・空き地が増加すると想定されるが、今後の方策について伺う。</p> <p>(1) 現在、空き家バンクに登録されている件数は、どのくらいあるのか。また、空き家バンクに登録を希望する方の情報をどのように収集しているのか伺う。</p> <p>(2) 令和6年12月に設立された全国空き家アドバイザー協議会宮城県大郷支部との連携は取れているのか伺う。</p>	

<p>(3) 持ち家を更地にすると固定資産税が上がるのは、主に住宅用地特例が適用されなくなるためである。解体を検討している場合は、税負担の増加を考慮し、適切な対策を講じることが重要と考える。本町の対応について伺う。</p>	
---	--

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 町長の公約について</p> <p>石川町長は「助け合いの町づくり」「教育に力を入れる町づくり」などをあげ、町民の期待を集めて当選された。半年が経過し、在宅介護家庭支援・高齢者の支援策・学力向上の為の施策に大きな期待を寄せている。</p> <p>(1) 「在宅介護手当支給制度」の検討内容と今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 「高齢者世帯の支援強化」の具体的な内容について伺う。</p> <p>(3) 「町営学習塾」の開設の具体的な内容と今後の見通しについて伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 文化会館等を活かした地域活性化策を</p> <p>本町には座席数 380 名の文化会館があるが、稼働率は必ずしも高いとは言えない。また、郊外には、現在、休館中の宿泊施設もある。それらをセットで町の活性化が図れないかと考えている。</p> <p>(1) 文化会館の年間稼働率を伺う。</p> <p>(2) 民間公演誘致の営業、または問い合わせなどはあるのか伺う。</p> <p>(3) 未活用宿泊施設の再活用計画は進んでいるのか伺う。</p>	
<p>3. 町議会解散の賛否を問う住民投票の裁判について</p> <p>解散請求制度は、住民の皆さんに認められた大切な権利であり、私自身、当初その民意を真摯に受け止めるべきと考えていた。署名の縦覧過程において、「署名審査は十分であったか」という点で疑念を持ち、司法の判断の必要があると考え、提訴した。</p> <p>今回の、結果を踏まえ、これまでの経緯を住民の皆さんに報告すべきと考えるが、町の見解を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 賑わいのある町へ</p> <p>1月27日、粕川地区防災コミュニティセンターにおいて地権者の方々との意見交換会が開催された。町長の意向が示され、圃場整備をする事になり、新たに60haを組み込む整備事業をするための説明を受けた。この事業を進めて行くには、かなりハードルが高いと考えるが、どのように進め、賑わいのある町へ変えることが出来るのか伺う。</p> <p>(1) 今年度末までに、地権者の圃場整備事業への同意を得て、前に進めることが可能なのか伺う。</p> <p>(2) 圃場整備事業が困難となった場合、どのような対策を講じていくのか、また、事業用地としての活用方法を考えていくのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. クラブ活動の移行による、地域の負担は</p> <p>中学校のクラブ活動が地域に移行されることにより教員の働き方が改善され、教員の負担が減る半面、地域の負担が増えていくと考える。</p> <p>(1) 地域移行によって指導者人材の確保が大変だと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 保護者の方々の費用負担が増えていくと考えるが、具体的なサポート体制について所見を伺う。</p> <p>(3) 具体的な移行スケジュールや補助制度について伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 町議会の解散請求署名について</p> <p>2月25日に、町議会の解散請求署名に関する決裁の一部取り消しを求める訴訟の判決が出る。裁判では、選管が有効と判断した署名の一部に、違法な代筆による署名や筆跡が同じ署名があり、本来は無効であると原告は主張している。また、有効署名数は有権者の3分の1を下回り、住民投票は成立しないことを訴えている。判決を受けての選管の見解について以下、確認する。</p> <p>(1) 選管による一連の対応について、どこに問題があり、何が不十分だったと考えるか伺う。</p> <p>(2) 選管としての反省点、今後の改善点は何か伺う。</p> <p>(3) 裁判費用や被告側の弁護士費用の金額についてオープンにすべきとの声がある。どのように対応するのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 施政方針における諸課題の取り組みについて</p> <p>(1) 農業の振興について、「地域農業を支える担い手の育成、確保が急務」と述べられている。具体的にどのような取り組みを検討しているのか伺う。</p> <p>(2) 上下水道事業について、経営戦略に基づいた財務体質の強化に向けた取り組みを進めると述べられている。取り組みの内容について具体的な説明を求める。</p> <p>(3) 施政方針では、本町の財政状況は極めて厳しく、事業の見直しや歳出を縮減しながら自主財源の確保に努めていく必要があると述べられている。見直しの対象とする事業や、歳出を縮減する事業について詳細な説明を求める。</p>	
<p>3. 町民の福祉向上について</p> <p>(1) エアコンの「スタンダードモデル」と呼ぶ低価格帯機種は、新省エネ基準を達成していないため、2027年4月から製造販売が出来なくなる可能性がある。高価格のものばかりとなり、購</p>	

入や買い替えが困難となる人もでてくると思われる。高齢者の熱中症発症を予防するため、自宅にエアコンのない高齢者世帯に対し、エアコンの購入および設置に要する費用の助成制度が必要と考えるが、見解を伺う。

(2) 通園バスの運行ルートについて、利用者の家族から改善を求める声がある。バス1台の運用となってから、バス停が隣の行政区に設定され、発車時間も早めに変更となり不便な状況が続いている。利便性向上のために、運行ルートの改善など柔軟な対応が必要と考えるが、見解を伺う。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 不登校対策に介護の考えを</p> <p>(1) 介護の考えの中で、介護になった方への接し方は、10人10色であり、不登校においても同様の考えである。不登校になってからの原因究明から、どのような対策を実施していく段階にあっても、なかなか実施されないことが不登校減少へと結びつかないものとする。町としての不登校対策として所感を伺う。</p> <p>(2) 不登校児童・生徒への具体的なアプローチ方法がうまくいかないのが現状ではないかと考える。町の所感を伺う。</p> <p>(3) できることは伸ばしてあげる、できない部分を補ってあげることは、不登校児童・生徒の尊厳を大事にすることにより、信頼関係が築け、いずれは脱不登校へと発展していくものとするが、町の所感を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 使用済み天ぷら油の再利用を</p> <p>CO₂削減への取り組みとして、家庭内もしくは事業から排出される「使用済み天ぷら油」に注目し、新しいエネルギーを作る循環型エネルギーについて伺う。</p> <p>(1) 町としてCO₂削減に取り組むべきではないかと考える。そこで、使用済み天ぷら油を回収することに力を入れ、回収方法や場所を考えてみては、所感を伺う。</p> <p>(2) 使用済み天ぷら油を、業者に売却し、バイオディーゼル燃料に生まれ変わることにより、CO₂削減へとつながると考えるが、所感を伺う</p>	
<p>3. 人口減少対策</p> <p>人口減少対策は、本町に限らず大きな問題である。大きな問題だと諦めてしまえば、次の世代にバトンを渡した際に、もしかしたらバトンを受け取ってもらえないという危惧も考えられる。</p> <p>(1) 今までの人口減少対策は、期待できる結果になっていない。</p>	

<p>その原因と今後の対策について町の所感を伺う。</p> <p>(2) 「空き家バンク」を実施しての効果も芳しくないものと考え る。「空き家バンク」を止め、宅地造成に改めていく考えはない のか所感を伺う。</p> <p>(3) 出産数を増やす施策として、出産祝い金や、子育て応援支援 金等、今の子育てに何が最も求められているのかを考えるべき と思うが、所感を伺う。</p>	
---	--

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 公約のスーパーマーケット誘致について</p> <p>「元気屋」が閉店したことによって、生活に不便を感じている町民が多くおり、町の活力がどんどん失われている。この状況を打開すべく、早急にスーパーマーケットを誘致しなければならない。しかし、事業者にとっては、本町で採算を確保するのは厳しいであろうから、町が支援をすべきと考える。</p> <p>以下について伺う。</p> <p>(1) 誘致の現時点での状況を伺う。</p> <p>(2) 事業者への支援は考えているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 空き家対策について</p> <p>「空き家」を大きく分類すれば、管理されている「空き家」とされていない「空き家」に分けられる。管理されていない「空き家」は、周りの住環境を悪化させてしまう。したがって、町が解体を促すような支援をしなければならないと考える。</p> <p>以下について伺う。</p> <p>(1) 管理されず、再利用の難しい空き家の件数は把握しているか伺う。</p> <p>(2) 上記の空き家を解体する場合、町からの補助はあるか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 物価高騰支援対策について</p> <p>(1) 重点支援地方交付金を活用した物価高騰支援策の一部として、本町では水道料金の基本料金2か月分の減免措置による負担軽減が実施され、今回の減免の対象は2,691件分(個人2,428件、企業263件)と伺った。当町の水道普及率は、令和6年度末で約95%となっているが、5%の方は何件分になるのか伺う。</p> <p>(2) 公平性の観点から、基本料金減免対象外の方への支援策はあるのか伺う。</p> <p>(3) 今回は住民1人当たり10,000円の商品券配布という厚い対策をとった。一方で、住民の方の声として、プレミアム商品券販売の場合、1冊が高額なため購入のハードルが高いという意見が聞かれ、偏った購入や、売れ残りによる国庫への返還もあったと聞いている。今後の課題として、少額での販売や、補助金分をクーポンで全住民に配布する等の検討は可能か伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 地域おこし協力隊について</p> <p>現在、地域おこし協力隊の方々が活発に活躍している。若い人材による地域の活性化をさらに推し進めるために、各課のニーズに合わせ、観光資源開発やイベント企画運営、地場農産物の商品開発、福祉支援、教育支援などテーマ別に、幅広い人材の募集を開始してはどうか。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 大郷町の活性化は人口増である</p> <p>広報おおさと1月号、町の人口7,350人。人口減少が進むと生活用品を扱う店舗の閉鎖や水道料金、介護保険など全ての負担が重くかかり、特に高齢者の生活環境が悪く、住みづらい町となり人口減少に拍車がかかると考える。</p> <p>(1) 打開策としての方策を伺う。</p> <p>(2) 令和5年、6年、7年度の出生数は何人か。</p> <p>(3) 令和25年の町の人口は何人と推測されるのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 費用対効果がすべてではない</p> <p>(1) 新成人との座談会で毎年出る話題は、住民バスの土曜日運行である。不便を感じた人達はこの町には住めないと考え転出していく。今後運行すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2) 町営住宅の家賃要綱を変更すべきである。若い世代が入居して、子供達が働き所得額が大きくなると家賃も高額となり、便利の良い町へと転出していく。家賃の要綱を変えるか、若者世代向けの町営住宅の建設をすべきと考えるが見解を伺う。</p>	
<p>3. 造成工事を民間事業者に委託</p> <p>町で5割の補助金にて企業誘致・住宅団地の造成工事を行い、町の発展につなげるべきと考えるが所見を伺う。</p>	